

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 古河市立八俣小学校

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。
記

実施日時	平成24年1月20日(金) 9:30 ~ 13:00
対象学年と人数	6年生78名(2クラス)
派遣講師名と出身国	・韓・東(ハン・ドン) (中国) ・オレリー・ノエル (フランス)
活動の内容	・分科会・・・あいさつ・中国・フランスの紹介(自然・学校・遊び・民族衣装・文化・言葉など) ・全体会・・・中国・フランスについての〇×クイズ ・講師の方とのふれあい給食
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	本校では毎年ワールドキャラバンを要請しており、毎回講師の方が自国について一生懸命に紹介したり、日本の児童と交流を深めようとする姿に感心させられます。児童も講師の方の熱意を感じて、とても交流を楽しむことができています。
生徒・保護者等参加者の感想	・講師の方の国の国旗やその意味について学びました。国旗にはその国それぞれの願いがこめられていることがわかりました。(児童) ・それぞれの国についてたくさん学ぶことができました。事前に調べ学習もしておいたので、話を聞いたときに「あっこれ知ってる。」とか「本で読んだ。」など知っていることがあり、よりいっそう興味を持って話を聞くことができました。また、講師の方がよくわかるようによく準備をして話をしてくださったので、私もこれから日本の説明をするようなときに、きちんと日本を伝えられるように日本についての勉強をさらにしていきたいです。(児童) ・世界には日本にない素晴らしい景色や場所があることがわかりました。(児童) ・それぞれの国には日本との違いがたくさんあり、世界は広いんだと感じました。(児童)
先生の感想	・総合的な学習・国際理解教育の一環としてワールドキャラバンを実施した。異文化にふれる機会の少ない本校の児童にとって、講師の方からそれぞれの国についてお話を直接聞いたことはとても貴重な経験になり、世界の広さを実感することができたようである。 ・講師のみなさんが自国についてくわしく知ってもらおうと準備を十分に行い、児童が参加できるように工夫しながら分科会や全体会を進めてくださり、児童が興味・関心を持続したまま学習をすることができた。 ・日本と世界の国々との共通点や相違点を学び、世界への興味を深めることができた。

